



# 立科町 議会だより



## 目次

- 特集(議会へのアンケート) … p2~6
- 議案審議報告 …………… p7~10
- 決算特別委員会 …………… p11~12
- 常任委員会報告 …………… p13~14
- 一般質問 …………… p15~19
- 議会の動き／編集後記 …… p20



# 「議会へのアンケート」にご協力 いただき、ありがとうございました。

## 今後の議会活動に活かしてまいります。

### \*アンケートの結果公表について

立科町議会では隔年で「町民と語る会」を開催し、みなさんのご意見を伺ってきました。しかし今年度は新型コロナウイルス感染症の影響により開催を見合わせ、各団体の代表82名の皆さんにアンケートをお願いし、コロナへの対応や町議会への意見・要望など 11項目のご意見をいただきましたが、今回は「調査結果のグラフ」と「新型コロナウイルス感染防止について」のご意見のみ発表させていただきます。ご協力いただきました皆様、大変有難うございました。

し今年度は新型コロナウイルス感染症の影響により開催を見合わせ、各団体の代表82名の皆さんにアンケートをお願いし、コロナへの対応や町議会への意見・要望など 11項目のご意見をいただきましたが、今回は「調査結果のグラフ」と「新型コロナウイルス感染防止について」のご意見のみ発表させていただきます。ご協力いただきました皆様、大変有難うございました。

し今年度は新型コロナウイルス感染症の影響により開催を見合わせ、各団体の代表82名の皆さんにアンケートをお願いし、コロナへの対応や町議会への意見・要望など 11項目のご意見をいただきましたが、今回は「調査結果のグラフ」と「新型コロナウイルス感染防止について」のご意見のみ発表させていただきます。ご協力いただきました皆様、大変有難うございました。

し今年度は新型コロナウイルス感染症の影響により開催を見合わせ、各団体の代表82名の皆さんにアンケートをお願いし、コロナへの対応や町議会への意見・要望など 11項目のご意見をいただきましたが、今回は「調査結果のグラフ」と「新型コロナウイルス感染防止について」のご意見のみ発表させていただきます。ご協力いただきました皆様、大変有難うございました。

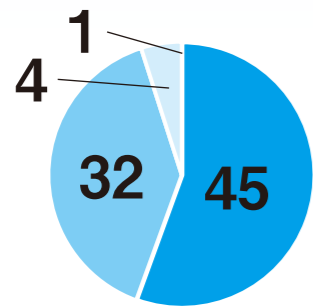
議会ホームページ  
QRコード



議会運営委員会 委員長 田中 三江

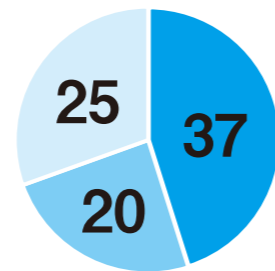
(単位：団体、人)

Q1. 町議会に関心がありますか。



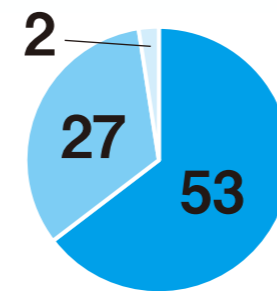
■ 関心がある ■ 少し関心がある  
■ 関心がない ■ その他

Q2. 地方政治の二元代表制を知っていますか。



■ 知っている ■ 聞いたことがある  
■ 知らない

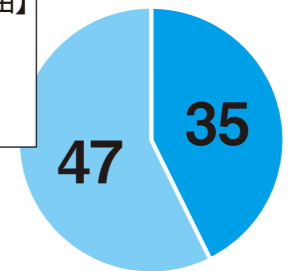
Q3. 議会だよりを読んでいますか。



■ 読んでいる ■ 読んだことがある  
■ 読んでいない

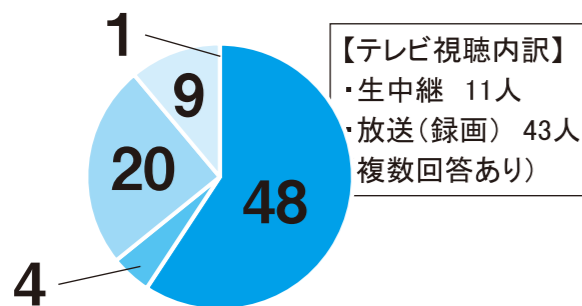
Q4. 町ホームページで「立科町議会」を検索したことがありますか。

【検索したことがない理由】  
・知らない 14人  
・関心がない 8人  
・その他 18人



■ ある ■ ない

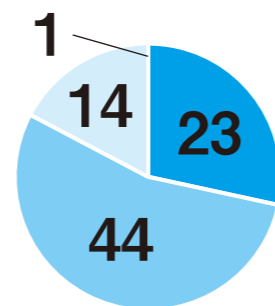
Q5. 町議会本会議のテレビ生中継・放送を見たことがありますか。



【テレビ視聴内訳】  
・生中継 11人  
・放送(録画) 43人  
複数回答あり

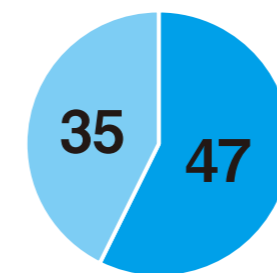
■ 見ている ■ 見たことがある  
■ 見たことがない ■ 聞いたことがある  
■ その他

Q6. 町議会が町政に団体や町民等の声を届けていると思いますか。



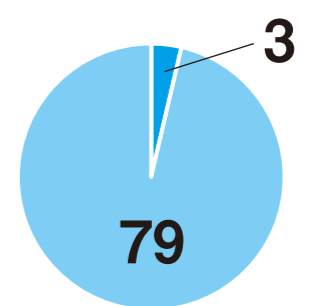
■ 思う ■ 少し思う ■ 思わない  
■ その他

Q8. 町議会議員の報酬(月額196,000円)を知っていますか。



■ 知っている ■ 知らない

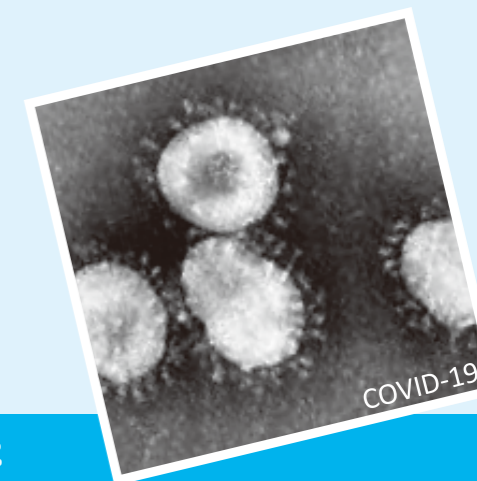
Q9. あなたは町議会議員になりたいと思うことがありますか。



■ ある ■ ない

# Q10. 新型コロナウイルス感染拡大防止等への ご意見などがありますか。 (自由記述)

\*7分野48の意見をいただき、ありがとうございました。  
趣旨は変えずに編集してあります。ご了承ください。



## 1、感染拡大防止策の強化を 16件

- 立科町として、新型コロナウイルスに対し、どう対応していくかの支援策が伝わっていない。第2波、第3波への対応と政策を。
- 感染者が出た場合の医療機関との連携を大事にして、町民に的確な情報と対応を伝えてほしい。感染者の多い地域は、全員の検査をするべき。
- 感染抑制と経済活動の回復の両立は難しい。3人に1人は65才以上の当町の状況を考えた施策が必要では。
- 第2波の拡大防止のため、町民の不要不急の県外への移動や県外からの町内への移動の自粛を。完全なワクチンができるまで人との接触を極力避け、ひとり一人が手洗い・マスク等3密を避けることを徹底する。
- 各地区の公民館、ゲートボール場、その他公園など人が集まるところに町の責任で消毒液の配置を。公共の場での感染対策をきちんとして。

## 2、経済対策とその強化 14件

- 町内事業者がコロナ対策として新しい事業を始めるための補助金、支援の創設を。
- いつ収束するかわからない長い闘いになりそう。今後は生活困窮者重点の支援策を考えてほしい。
- 観光業・飲食業など町内でも経営に困っている人が多いと思う。行政とも協力し、援助の手立てを図っていただきたい。宿泊業者への支援宣伝をさらに推進。食堂での食事は良いが宴会は自粛すべき。別荘地・観光地に留意願いたい。楽しく笑いあえる場、雰囲気を作っていくことがいいことと思う。
- 6月25日提出の新型コロナウイルス感染症対策に関する要望内容が実現されたか追跡確認をお願いしたい。
- 経済的補償や支援金の支給など、立科町はよく取り組んでいる。
- 国・町による特別定額給付金、食事券・プレミアム商品券と支援金の対応に感謝。さらにこの枠から漏れる町民にきめ細かな支援を。
- 仕事が減少している中、追加の支援の検討を。

## 3、イベント・会合等 7件

- 過敏になりすぎている面もあるかと思うが、会議や集会への行政・団体等の参加は重要で必要。一律でなく個別に判断を。
- 会議はリモートにしたらどうか。リモート・テレワークの普及必然があるので、光ケーブル等の料金へ町の支援を。
- 町民のネット環境・たてしなTCV、有線の有無などの現状把握。
- 行政は会議や集会の中止に目が向いていて、コロナをどうするかの方が見えない。感染症対策を徹底したうえでの新たな生活様式の町民への浸透。
- イベント・会合等は本当に収束が見えるまで自粛を徹底すべき。

## 4、議会に求む 4件

- 応援事業・補助金等様々な対応に感謝。スピードも求められるが、議員からも観光支援策の具体的なアイデアを。議員が、自ら率先して消費拡大を。

## 5、風評被害・いじめ防止を 3件

- 感染者やその家族に対する差別や偏見がないように啓発を。

## 6、対策の宣伝強化を 3件

- すでに第2波、第3波に向けた町の取り組みを練っていると思うが具体的にどのようなことを行っているか、町民にわかりやすく知らせて。

## 7、避難所運営 1件

- 災害時の避難所における対策の検討を。町行政と組部落の役割分担等。

アンケートへのご協力ありがとうございました。



# 令和2年 第3回 定例会

## 決算特別委員会を設置し各会計の決算を審査

**一般会計及び特別会計 歳入総額 72億2,620万円**  
**歳出総額 64億8,102万円**

令和2年第3回定例会は、9月3日から17日までの会期で開かれた。各会計の決算認定、条例の制定及び補正予算などを審議し、原案のとおり可決した。

歳出については、経常的な支出をはじめ、移

### 決算の認定

一般会計他9会計の全会計について審議し、全ての会計の決算を認定した。

### 令和元年度

住・定住の推進状況、中山間地域農業直接支払事業及び多面的機能支払事業の取組状況、小・中学校空調設備設置工事の契約や設置状況、立科教育推進事業等の説明のほか、実施した各事業の具体的な内容説明を受けた。少子高齢化が加速する中、人口減少の抑制や移住・定住人口の増加に資する事業展開が積極的に実施されることを期待する。

- ◇一般会計歳入歳出決算 歳入については、各款・項・目について、収入の内訳や収入未済額、不納欠損額、差押え等、詳細な説明を受けた。町税については、訪問や電話等による徴収努力は認められたが、コンビニ収納等を活用した効率的で有効な徴収体制の強化を図り、自主財源の確保により一層の努力を求めた。
- ◇国民健康保険特別会計 歳入歳出決算
- ◇後期高齢者医療特別会計 歳入歳出決算
- ◇介護保険特別会計 歳入歳出決算
- ◇住宅改修資金特別会計 歳入歳出決算
- ◇下水道事業特別会計 歳入歳出決算

### 条例の制定・改正

- ◇立科町長及び副町長の給料の減額に関する条例制定
- ◇立科町長及び副町長の給料の減額に関する条例制定
- ◇職員の特典勤務手当に関する条例の一部を改正する条例
- ◇白樺高原下水道事業特別会計歳入歳出決算
- ◇白樺湖特定環境保全公 共下水道事業特別会計 歳入歳出決算
- ◇水道事業会計決算
- ◇索道事業特別会計決算

### 令和2年度 補正予算

- ◇一般会計補正予算(第5号)
- 可決 2億6,215万円を追加し、総額57億4,581万円とするもの。
- 歳入では、前年度繰越金の確定に伴い、財政調整基金繰入金を3億4,000万円減額。
- 歳出では、新型コロナウイルス感染症に伴い、国際交流推進協議会負担金(ホストタウン事業)を1千万円減額。農地耕作条件改善事業農道整備経費2千万円、道路維持

# 議会からの要望、町政に活かされる

令和2年6月25日付で議会から町へ提出した「新型コロナウイルス感染症対策に関する要望書」が次の事業などに実りました。

- ◎新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の有効活用…補正予算2億1千万円に。
- 検査体制の拡充／感染症拡大防止の避難所の確立・感染症予防／物品の備蓄、医療機関等への提供
- 町出身学生への支援拡充…50万円 帰省できない学生に町特産品を一人5千円相当(お米、リンゴ、ジュースなど)。
- 生活困窮者への相談体制の強化・支援の拡充…社会福祉協議会への委託(緊急小口資金貸付など)・職員による相談体制強化
- 正確でわかりやすい情報提供…広報で一覧表・事業説明・連絡先の明記
- 観光振興・町民の暮らし応援
- 児童・生徒の教育環境整備・心のケア
- 職員の健康面等への配慮…検温の徹底・マスク着用、負担の軽減など

《町補正予算より》

●業績悪化の交通事業者支援	3,300万円
●売り上げ減少事業者に10万円	1,000万円
●キャッシュレス決済普及推進	1,200万円
●図書室蔵書検索システム	66万円

●避難所対策	2,100万円
ポータブルエアシャワーブース(簡易設置できる洗浄装置)	
・防護服・マスク・体温計・フェイスシールド・ダンボールベッド・仕切り板、備蓄倉庫	
●公民館分館に対策費10万円	330万円

●立科プレミアム商品券発行	2,560万円
1枚500円13枚つづりを5,000円で。一人最大5セット。	
●GO TO信州inたてしな	3,000万円
8千円分を3千円で販売。(宿泊6,000円+飲食1,000円+レジャー・お土産1,000円)	

●学校情報機器整備	9,200万円
一人一台のタブレット/児童用・教師用	合計480台
動画撮影用カメラ・電子黒板	
●中学校修学旅行キャンセル代補助/一人7千円	35万円



左から田中議会運営委員長、森本議長、両角町長、小平副町長

## アンケート調査のうち「町政へのご意見等」を提出

立科町議会では、新型コロナウイルス感染症の影響を考慮し、「議会と語る会」を見合わせ、アンケートを実施しました。

アンケート回答の中には、町政へのご意見等もあり、令和2年9月30日、町へ報告・提出しました。

これからも立科町議会では、町民の皆様の声を町政へ届けてまいります。

管理経費721万円、小学校手洗い所改修経費611万円、災害復旧経費1239万円等を計上し、予備費に2億1058万円を計上。

◇一般会計補正予算(第6号)

**可決** 2323万円を追加し、総額57億6904万円とするもの。

令和元年台風19号豪雨災害に伴う災害復旧国庫負担金、町債及び事業費を計上するもの。

◇介護保険特別会計補正予算(第1号)

**可決** 前年度繰越金確定及び令和元年度諸支出金返還金計上等により、2064万円を追加し、総額9億7911万円とするもの。

◇下水道事業特別会計補正予算(第2号)

**可決** 歳入実績及び合併浄化槽補助金計上により、41万円を追加し、総額4億4752万円とするもの。

陳情を受けて議会で発議し、全会一致で可決。

◇農畜産業の振興及び夢科牛ブランドを守る決議について

陳情を受けて議会で発議し、全会一致で可決。

その他

◇佐久市・北佐久郡環境施設組合の事務所移転及び規約の変更について  
全会一致で可決。

第4回臨時会

令和2年7月28日、臨時会が開かれ、立科町公の施設に係る指定管理者の指定について等を原案のとおり可決した。

第5回臨時会

令和2年8月11日、臨時会が開かれ、一般会計補正予算(第4号)を原案のとおり可決した。

◇水道事業会計補正予算(第2号)

**可決** コンビニ収納に伴う水道料金システムと財務会計システムとの連携システム改修費28万円を計上し、予備費で調整するもの。

◇水道事業会計未処分利益剰余金の処分について

**可決** 令和元年度未処分利益剰余金2383万円のうち1千万円を減債基金に、1千万円を建設改良積立金に、383万円を利益積立金に積立てるもの。

報告

◇健全化判断比率の報告

実質赤字比率、連結実質赤字比率、将来負担比率、資金不足比率は黒字等のため数値なし。  
実質公債費比率は、7.2%で前年度より0.4%改善した。

◇立科町教育委員会の事務の管理及び執行状況の点検及び評価報告書  
地方教育行政の組織及

討論

◇賛成

中村 茂弘  
議案第47号職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例制定については、新型コロナウイルス感染症対策として、長野県の特殊勤務手当(感染症防疫等作業手当)が改正され、それに準じた改正であり賛成する。

議案第48号立科町消防団条例の一部を改正する条例制定については、立科町消防団の定数を見直すものであり賛成する。  
議案第50号令和2年度立科町一般会計補正予算(第5号)については、事業推進に必要と認められるため賛成する。

令和元年度一般会計決算の認定について

◇賛成 村田 桂子  
台風19号襲来、コロナ禍への対応など、職員の働きに感謝を表す。  
消費税の増税にコロナ禍が重なり、町税、とりわけ固定資産税では滞納

が増加。使用料なども増額。保育料無償化が実現したが滞納も多く更なる負担軽減必要。歳出では、電算共同化で多額の無為の支払い。職員タイムレコーダーも機能せず。多面的機能支払い事業で地域の組織が今年も一つ減り9組織に。交付申請の事務が高齢化で負担に。支援が必要。プレミアム商品券も執行率は3分の1に留まった。  
テレワークや育成やタテシナソン・地域おこし協力隊の活躍が受賞するなどの評価をえた。  
信州たてしな観光協会として一本化。宣伝力の強化で集客落ち込みを食い止めた。18歳まで医療費無償化が実現。立科教育などに合計9人の講師を町独自で配置するなど評価も多く賛成する。

び運営に関する法律に基づき、令和元年度に執行した教育委員会の事務事業の主要施策18項目について点検・評価が行われA評価が2事業、B評価が15事業、C評価が1事業との報告。

◇立科町教育委員の選任  
久保井 智恵氏(新任)  
全会一致で同意した。

同意

陳情

9ページ下段に記載のとおり。

発議

◇新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方税等財源の確保を求める意見書の提出について  
全会一致で可決。

会計別決算額 (1万円未満四捨五入)

会計名	歳入決算額	歳出決算額	差引	
一般会計	48億3,671万円	41億6,653万円	6億7,018万円	
特別会計	国民健康保険	8億967万円	8億463万円	504万円
	後期高齢者医療	8,133万円	8,103万円	30万円
	介護保険	9億8,539万円	9億5,857万円	2,682万円
	住宅改修資金	246万円	238万円	8万円
	下水道事業	4億886万円	3億9,791万円	1,095万円
	白樺高原下水道事業	4,353万円	4,190万円	163万円
	白樺湖特定環境公共下水道事業	5,825万円	2,807万円	3,018万円
特別会計 合計	23億8,949万円	23億1,449万円	7,500万円	
合計	72億2,620万円	64億8,102万円	7億4,518万円	

公営企業会計(税込)

会計名	歳入決算額	歳出決算額	差引	
水道事業	収益的収支	3億564万円	2億7,783万円	2,781万円
	資本的収支	278万円	1億849万円	△1億571万円

資本的収支の不足額は、過年度分損益勘定留保資金で補てん。

索道事業	収益的収支	2億6,042万円	4億1,952万円	△1億5,910万円
	資本的収支	0円	5,902万円	△5,902万円

収益的収支の不足額は、繰越欠損金として処理。  
資本的収支の不足額は、過年度分損益勘定留保資金及び令和元年度分消費税及び地方消費税で補てん。

請願・陳情の審査結果

受理番号	件名	提出者	付託委員会	結論
陳情第4号	国の責任による35人学級推進と教育予算の増額を求める陳情書	長野県教職員組合佐久支部立科町単組長 吉田 忍	社会文教建設常任委員会	採択 全会一致
陳情第5号	義務教育費国庫負担制度の堅持・拡充を求める陳情書	長野県教職員組合佐久支部立科町単組長 吉田 忍	社会文教建設常任委員会	採択 全会一致
陳情第6号	佐久食肉流通センター存続に向けた陳情書	J A佐久浅間肉牛部会 部長 角田 敏明	総務経済常任委員会	趣旨採択 全会一致

※結論は、付託委員会のもの。本会議において全会一致で採択及び趣旨採択された。  
※採択された陳情第4号及び陳情第5号は、国に対して意見書を提出した。

各議員の賛否結果(賛否の分かれたもの ○賛成 ●反対) ※議長は表決に加わらない。

議案番号	議案名	今井	芝間	中島	中村	今井	森澤	今井	村田	田中	瀧澤	榎本	結果
		健児	教男	健男	茂弘	英昭	文王	清	桂子	三江	美雄	真弓	
認定第3号	令和元年度立科町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	可決

# 決算等審査報告 (抜粋)

監査委員 関 淳  
瀧澤壽美雄



関 淳 代表監査委員

あり、経常経費の抑制に努められた。  
実質公債費比率は7.2%、0.4%減、公債費の負担は、町民一人当たり61万6千円、前年度と比較すると1万円減となっている。

今後とも将来負担を勘案した行財政運営を行い、持続可能な財政基盤の確立に努められた。

## 歳入

**決算全体** 一般会計及び特別会計の純計決算規模で、実質収支は6億3188万9千円の黒字、単年度収支は3471万円の黒字となっている。

**財政指標** 立科町普通会計における各種財政指標を前年度と比較すると、自主財源は42.3%、5.8%減、財政力指数は0.37、経常収支比率は84.7%、3.0%増となり、財政構造の弾力性の確保が必要な状況で

**歳出** 一般会計及び特別会計の歳出については、「住んでみたい、産み育てたいと思える町づくり」「安心・安全で持続可能な町づくり」「豊かな資源を活かした町づくり」の3本の柱を基に進められている。

令和元年度は、令和元年10月の台風19号豪雨災害により、様々な事業推進に影響が生じたが、社会福祉型テレワーク事業の推進、子どもたちの健康に配慮した小・中学校空調設備設置等の事業展開が図られたこと、また、災害復旧事業に取り組みされたことは、評価できると認められた。

人口減少が進み、特に生産年齢人口の減少と高齢化の進展等により、行財政運営が厳しい状況となっている。また、公共施設等の老朽化により、その維持管理や長寿命化等が課題であり、より適正で計画的な予算執行に努められた。

契約事業執行状況では、随意契約の適用に留意されたい。契約の競争

性、経済性、公平性、公正性、透明性、履行の確保等、慎重かつ適正な契約事務を図るため、随意契約とする場合は、その個々について、その理由を常に明確にされたい。

立科町が金融機関と損失補償契約を締結している社会福祉法人ハートフルケアたてしなの運営状況については、令和元年度決算における借入返済が認められた。引続き、遅滞なく返済が進むよう注視されたい。

立科町の財政援助団体等の審査及び監査では、立科町商工会及び信州たてしな観光協会への補助金事務手続等は、適正に処理されていると認められた。また、公の施設管理団体である農事組合法人蓼科農ん喜村についても事務手続等は、適正に処理されていると認められた。

**公営企業** 水道事業では、施設の老朽化による供給経費の増大、人口減少や節水機器の普及等による供給水量の減少が推

測され、より一層の健全経営が求められる。現状の施設及び経営状況の把握、分析及び評価に基づき、給水原価の抑制に努め、安定した経営を引続き推進されたい。

索道事業では、毎年度厳しい経営が続いている。夏山営業では、令和元年10月の台風19号豪雨災害の影響を受け、冬山営業では、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う外出自粛の影響を受け、索道事業収益は、前年度を更に下回っている。このような状況が続く中、町長が推進する索道事業の指定管理者制度への移行による経営改善が図られ、更に観光振興が推進されることを期待するものである。

## 基金運用状況

基金の運用状況は、その設置目的にしたがって、適切に管理、運用、会計処理等されていると認められた。



白樺高原総合観光センターに整備された光伝送路監視装置等を現地視察。

が、今後は、更に基金の効率的な運用等に努められた。

## 総括

立科町の厳しい行財政運営等を踏まえ、より一層の行政サービス、財源確保、経費削減、経費節減等を推進し、効果的な予算執行に努められた。最少の経費で最大の効果を挙げるため、経済性、効率性、有効性を常に意識した事務事業に当たり、職員一人ひとりがコンプライアンス（法令遵守）の原点に立ち返り、意識改革に取り組み、これまで以上に全職員で行財政の健全運営に鋭意努力願いたい。

# 決算特別委員会

9月14日・15日の2日間、決算特別委員会を開催し、決算認定の審査を行った。



委員長 森澤 文王  
副委員長 今井 清  
議長・監査委員を除く議員で構成

## 総務課

**歳入** 町税の収入未済額が約1億円あるがその理由は、  
**答** コロナ禍により訪問徴収を縮小したため、平年よりも滞納整理ができなかったため。

**問** 町税のコンビニ収納の実績は。  
**答** 4479件。町外の方の収納率を上げるために良い制度となっている。

**問** 町税による差し押さえはあったか。  
**答** 該当件数は9件あった。

**問** 町税の不能欠損の概要は。

**答** 該当件数は38件あった。理由は、個人は外国人の方が帰国された等のため。法人は登記簿が閉鎖された等のため。

**問** 環境性能割交付金が減額された理由は。  
**答** 当初見込んだ金額に開きがあったため。

**問** 自主財源を確保するためにどのような対応をしたか。  
**答** 徴収対策会議が開催されなかったが、町有地の活用の検討がされはじめた。

**歳出** 総務管理費の不用額の概要は。  
**答** 予定した事業は全て執行。そのため入札差金などの積み上げによる。

**問** 交通安全対策費により死亡事故が発生した箇所はあったか。  
**答** 対策会議を行なったが、交通量が少ないため信号機が設置できなかった。その他の事故防

止対策はとっている。

**問** 公用車の更新について。  
**答** できる限りの使用を原則として、車両の状況を精査して更新計画を立てている。

**企 画 課** 屋外広告物安全点検の結果は。  
**問** 県条例で、3年に1回4m以上の高さの広告物の点検が義務付けられている。町内には、18か所あり、1か所が指摘された。

**問** 国際交流推進協議会負担金の実績は。  
**答** ビーナスマラソンにウガンダから2名招待した。ウガンダにいた青年海外協力隊員を、地域おこし協力隊員に委嘱したため、経費削減できた。

**問** ふるさと寄付金事業の返礼品の見直しは。  
**答** 20kgを10kgの米に変更。8千件が8000件に減った。収入は2340万円。返礼なしの災害支援金は、152件、355万円。多くの善意に感謝する。

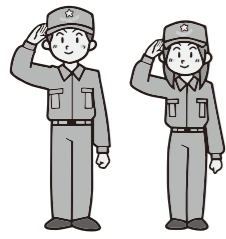


更新した屋外広告物

# 総務経済常任委員会

所管 総務課・企画課・農林課・観光課・会計室・議会事務局  
 委員長／今井 清 副委員長／今井英昭  
 委員／森本信明 田中三江 中村茂弘 中島健男

9月11日、付託案件を審査した。主な質疑内容は次のとおり。



**Q** 改正の概要は。  
**A** 消防団員の定数を見直す。385名を380名とする。共済掛金等も減額となる。

**Q** 立科町消防団条例の一部を改正する条例制定について  
**A** 立科町消防団条例の一部を改正する条例制定について

**Q** 改正の概要は。  
**A** コロナ感染症対策で県の特種勤務手当が改正され(4千円/日、2400円/半日)町も準じた。実際にコロナ対応の業務に携わったときのみ支給される。

**Q** 職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例制定について  
**A** 職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例制定について

## 質疑 Q & A

**Q** 観光課事務所移転の工事内容とは。  
**A** 現在観光課が事務所を構えている白樺高原観光センターが指定管理者に管理移行

**Q** 観光課事務所移転の工事内容とは。  
**A** 現在観光課が事務所を構えている白樺高原観光センターが指定管理者に管理移行

**Q** 農畜産物立科ブランド確立  
**A** 農畜産物立科ブランド確立

**Q** 電算業務委託料201万円の内容は。  
**A** 3年に一度の固定資産評価替え業務、スマートフォン決済対応業務の委託費用。

**Q** 町債の内容は。  
**A** 農業耕作条件改善事業によるもの。

**Q** 令和2年度立科町一般会計補正予算(第5号)について  
**A** 令和2年度立科町一般会計補正予算(第5号)について



立科町のブランド『蓼科牛』

**Q** 『蓼科牛』の旗とポールを各50本購入。  
**A** 『蓼科牛』を守るという趣旨には賛同するの  
 で、全員で『趣旨採択』とした。

**Q** LED防犯灯は新規に設置したのか。  
**A** LED防犯灯は新規に設置したのか。

**Q** 西塩沢で有線の木柱に付いていたため、交換した。  
**A** 西塩沢で有線の木柱に付いていたため、交換した。

## 活動報告



令和2年8月11日(火)・9月11日(金) 観光課・農林課・企画課・総務課から、令和2年度の事業進捗状況の説明を受けた。  
 新型コロナウイルス感染症にかかる事業をはじめ、各種事業の進捗状況・効果等について確認を行った。

**問** 地域包括支援センターの事業経費、効果はどうであったか。

### 町民課



ワーカークリニング

**答** テレワーカー養成研修の実績は。テレワーカー育成のため、レベルに合った各種研修会への参加。

**問** 地域交通バス対策費4193万円の内容は。  
**答** スマイル交通バス購入、スマイル交通・デマンド交通運行費用と運行形態変更で、周知のパンフレットを作製した。

**問** 権現の湯源泉水中ポンプ交換工事について。  
**答** 2年に1回定期交換。2台あり、1台使用中に1台修繕する。交換工事260万円、修繕300万円が今後掛かる経費となる。



**問** プレミアム付商品券の執行率は。  
**答** 販売率で32.6%であった。  
**問** 結果に対しての総括は。  
**答** 国の施策ではあるが、対象者が住民税非課税者であったことから、商品券の購入という点でハードルが高かったのではないかと考えている。

**問** 中山間地域農業直接支払事業経費は何団体か。  
**答** 23団体である。

**問** 松くい虫防除対策事業経費2042万円は。  
**答** 主に笠取峠の防除対策費である。

**問** 建設環境課  
**答** 事業者向けにも生ごみ処理機の普及も必要と思うが、補助金等検討して行く。

**問** PTA等から通学路に関する要望は届いているか。  
**答** 横断歩道等警察関係は別として、緊急修繕・小規模修繕で対応している。

**問** 農畜産物立科ブランド確立事業経費346万円は。  
**答** 主にワイン用苗木とキノコの原木1000本である。

### 農林課

**問** 台風シーズン前には河川の木・障害物等パトロールし、計画的に取り除いているか。  
**答** 町の管理しているものについては、全部を見るという事は出来ない。地域の要望があった所から順次対応した。河川護岸整備の補助金と言う形で10団体と協定を結び、維持管理をお願いしている。

**問** 観光課  
**答** 宣伝媒体を、テレビ・ラジオからWEB媒体に力点を移したとのことだが、効果は。動画が41本作成し、再生回数も多く、夏場の集客が県全体で2.6%落ち込んだが、当町は0.5%に留まった。

**問** 文化財保護経費の古東山道発掘調査の結果は。  
**答** 白樺高原の箕輪平で発掘調査を行ったが、決定的な遺跡が出てこなかった。今後、包蔵地として埋蔵文化財の指定地に加えることにした。

**問** 教育委員会  
**答** 文化財保護経費の古東山道発掘調査の結果は。白樺高原の箕輪平で発掘調査を行ったが、決定的な遺跡が出てこなかった。今後、包蔵地として埋蔵文化財の指定地に加えることにした。

**問** クロスカントリーコースについて、昨年は無料で供用開始をしたが利用はどうだったか。  
**答** 合計3181人。後半は台風被害で利用できなかった。

**問** ビーナズライン連携協議会の仕事・役割は。  
**答** ホームページデザイン、トレーニング案内特設ページ作成、観光パンフの増刷、スタンプラリーなど、宣伝充実を図った。

**問** 埋蔵文化財の包蔵地として届け出をした。規制をかけて乱開発等がないよう守っていく。  
**答** 埋蔵文化財の包蔵地として届け出をした。規制をかけて乱開発等がないよう守っていく。

**問** 人権センターの不用額約40万円は。  
**答** 常駐している相談員がいない状況で予算計上したが、それに伴う事業活動が出来ていない状況。

**問** 稼働率は。  
**答** シルバー人材センターを置いていて、ここで、いつ誰が来ても相談を受けられる窓口は開けている状態になっている。



古東山道発掘調査(蓼科地区)

# 一般質問

## 質問項目

今定例会では、議員8人が一般質問を行いました。



今井 清 議員 16ページ

- ①人口減少対策について

中島 健男 議員 16ページ

- ①コロナ禍における災害避難所について
- ②歴史資料館の設置について

今井 英昭 議員 17ページ

- ①気候非常事態宣言について
- ②新型コロナに連動した行政運営と改革について

榎本 真弓 議員 17ページ

- ①地方創生臨時交付金、地方創生支援制度について
- ②奨学金返還助成制度について

芝間 教男 議員 18ページ

- ①災害への備えについて

森澤 文王 議員 18ページ

- ①コロナ禍後に向けた政策について

今井 健児 議員 19ページ

- ①国道142号の景観維持の現状について
- ②円滑な行政運営について

村田 桂子 議員 19ページ

- ①町職員の働き方は改善されているか
- ②「蓼科牛」の未来をどう守るか



※太字の質問を掲載  
議事録は議会ホームページで閲覧できます。

# 町政について質問！

一般質問の文章は質問者の責任で作成しています。

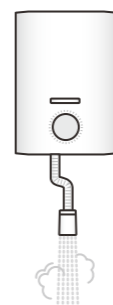
# 社会文教建設常任委員会

所 管 町民課・教育委員会・建設環境課  
委員長／森澤文王 副委員長／今井健児  
委 員／榎本真弓 瀧澤壽美雄 村田桂子 芝間教男

9月10日、付託案件を審査した。主な質疑内容は次のとおり。

## 質疑 & A

- Q** 立科町廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部を改正する条例制定について  
**A** ◎立科町廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部を改正する条例制定については、第8条の250kgを10kgに改正した理由は、250kgだと大規模事業者はほぼ一社に絞られてしまう。10kgにしたのは、町の指導を強化するため。  
**Q** 指導とは。  
**A** ごみの排出計画の提出を求め、減量化に向けて取り組んで頂く。  
**Q** 10kgにした場合の事業者数は。  
**A** 約9社。
- Q** ◎令和2年度立科町一般会計補正予算(第5号)について  
有料道路通行料2万円とは何か。  
**A** ◎令和2年度立科町下水道事業特別会計補正予算(第2号)について  
浄化槽事業経費50万円とは。  
**Q** 今年度3件予算を取っていたが、もう1件浄化槽設置したい方が出た。  
**A** 盲導犬の受けとりがあり、大阪まで高速を使用。
- Q** 道路維持管理経費の修繕料700万円は、台風の関係か。  
**A** 一般的に道路・水路の補修で台風とは別のものである。8月末現在で85%執行。それを見ながら算出した。
- Q** 小学校手洗い所改修とは。  
**A** 凍結防止の工事と温水器の工事。冬場にお湯が出れば良いという学校からの要望である。



## 活動報告

◎民生児童委員協議会との合同研修会 令和2年8月21日(金) 場所 中央公民館



立科町生活支援体制整備事業について  
社会福祉協議会 内藤コーディネーター  
町民課高齢者支援係 笹井保健師より講習を受けた。

民生児童委員協議会定例会議の  
ソーシャルディスタンスの配席に合流。





人口減少対策について



今井 清

人口減少の現状と課題について。

社会情勢からも人口減少対策を講じることは、少子高齢化が進む中、避けて通れない共通の課題であると思う。

移住定住政策を積極的に推進することが、人口減少対策に有効ではないか。

移住定住施策は、立科町において、とても重要な施策であると感じている。

2年前に空き家調査を実施したが、その後所有者への聞き取り調査が行われていない現状は。

全国的に大変深刻な問題である。晩婚化、非婚化の傾向も影響しているが、経済的な要因も大きいと言われている。

町内に戻り就職することを前提とした奨学金等を検討されたら。高等教育の無償化制度が始まり、国や県でも給付型の奨学金制度

え、様々な角度から移住定住政策を講じるべき。住宅環境の整備、情報通信インフラの充実等の課題はあるが、立科町で住み、働くことのできる環境づくりを進めていきたい。

人口減少に歯止めをかけるため、人口減少対策を町全体で様々な角度から強力に取り組む必要がある。増え続ける空き家を移住定住政策に結び付けることがひとつの有効な施策である。

移住定住政策を積極的に推進することが、人口減少対策に有効ではないか。

2年前に空き家調査を実施したが、その後所有者への聞き取り調査が行われていない現状は。

テレワーク（在宅勤務）により地方への移住を考えている人が増えている。今をチャンスととら



「ふるさと交流館での交流」

コロナ禍における災害避難所の対応について



中島 健男

新型コロナウイルス感染症対策で『新しい生活様式』が唱えられ、3密の回避やソーシャルディスタンスが日常に求められている。一方で、異常気象による風水害で、災害避難所の必要性が高まっている。そこは、通常では3密状態そのものであり、新しい生活様式とは全く正反対である。この相反する状況に、町長はどのような方針で対応するのか伺いたい。

コロナ禍での避難所は、3密の回避が最重要であり、感染発生防止と人権への配慮を最優先に行動する。

昨年の台風19号での避難者は、総務課長 老人福祉センターに最大142名。

その場所、2mの間隔を空けたら収容人員は何名か。総務課長 通常の避難所は、2m/人だが、7月3日に発行されたコロナ対策が反映された『改定県避難所運営マニュアル』では、3m/人となっており、これだと、60人収容となる。

昨年の避難者を参考にすると、全然足りない。老人福祉センターを、発熱や体調不良者専用の避難所にして、健常者は体育センター等に避難しては。

熱中症や寒さ対策で難しい。老人福祉センター2階や周辺施設を活用して対応する。

9月6日の町総合防災訓練は、コロナ対策を考慮して行われたと思うがその内容は。総務課長 参加者を175名にした（通常千人）。県のマニュアルを参考に受付での検温、健康確認、ダンボールベット等の組立てや撤収を実施した。

訓練を終えて、コロナ対策と避難所の両立は可能か。総務課長 日頃からの、町民一人一人の備えが重要。命を守る行動を取っていたら良かった。

避難所の受付は、検温や健康確認で混雑するので、町民に早めの行動をするよう指示して欲しい。空振りでもいいので。

避難所の受付は、検温や健康確認で混雑するので、町民に早めの行動をするよう指示して欲しい。空振りでもいいので。



町総合防災訓練（手指消毒）



町総合防災訓練（ダンボールベット組み立て）

立科町気候非常事態宣言の概要は

2050年までに二酸化炭素排出実質ゼロを目指す



今井 英昭

実現へ向けた取り組みは。

組織・予算は令和3年度の予算の枠組みができたところで検討する。

今後30年間の取組みは。

県等と連携しながらこれから計画を立てる。

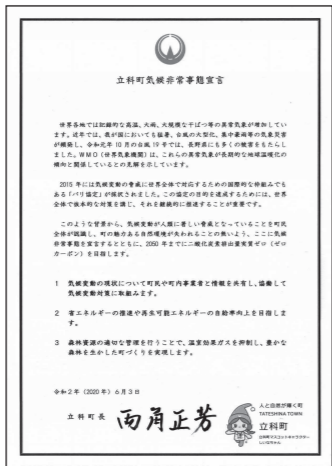
行政改革につながる、「コロナ禍による新しい生活様式」について

役場内の会議の手法や内容の見直しはあったか。

手法を代えたことで不要の会議とは言えないが、代替措置があれば負担軽減ができ、そのきつかけとなっている。

立科町まちづくり創生会議が中断している。これに限らず再開するため、リモート会議の環境整備が必要ではないか。

テレワークで使用している既存設備の応用ができないか、情報



立科町気候非常事態宣言

収集している。

職員の意識変化はあったか。

職員一丸となってコロナ禍の難局を乗り越えようとしており、意識変化はある。町民サービスが滞らないために、各課業務継続計画を作成している。

地方創生臨時交付金、地方創生支援制度について



榎本 真弓

「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金・地域未来構想20オープンラボ」は、取り組みたいと考えている政策を、自治体と民間の知恵を併せ技術やノウハウを持っている専門家と手を組み事業展開をしていく。そのマッチングの場を国が用意する画期的な交付金事業である。所見を伺う。

地方公共団体と各分野の専門家をマッチングし、関係省庁が支援するものと理解。この制度による先進事例等を参考に、今後の施策に活かしていきたい。

官民連携の重要性を感じるとともに、柔軟な発想で「新しい生活様式」への移行が必要であると考える。

返還助成に対し、特別交付税措置が拡充された。積極的に活用すべきではないか。

立科町に戻ろうと考える動機づけの一つになるかもしれない。

奨学金返還助成制度について（2019年6月追跡質問）



地域未来構想20 オープンラボ

行政のIT化の対応は。長野県DX戦略との連携は。総務課長 自治体のIT化は重要で、今後加速すると思う。デジタル化をすることで、何を実現するかが重要と考える。長野県DX戦略は、新型コロナウイルス感染症などの前例のない危機にも対応できるように、5Gなどのインフラ整備を促進し、長野県を魅了的な地域にすることを目的としている。連携している長野県自治振興組合で情報を共有し進めていく。

自治体のIT化は重要で、今後加速すると思う。デジタル化をすることで、何を実現するかが重要と考える。長野県DX戦略は、新型コロナウイルス感染症などの前例のない危機にも対応できるように、5Gなどのインフラ整備を促進し、長野県を魅了的な地域にすることを目的としている。連携している長野県自治振興組合で情報を共有し進めていく。

自治体のIT化は重要で、今後加速すると思う。デジタル化をすることで、何を実現するかが重要と考える。長野県DX戦略は、新型コロナウイルス感染症などの前例のない危機にも対応できるように、5Gなどのインフラ整備を促進し、長野県を魅了的な地域にすることを目的としている。連携している長野県自治振興組合で情報を共有し進めていく。

返還助成に対し、特別交付税措置が拡充された。積極的に活用すべきではないか。

立科町に戻ろうと考える動機づけの一つになるかもしれない。

立科町に戻ろうと考える動機づけの一つになるかもしれない。

立科町に戻ろうと考える動機づけの一つになるかもしれない。

立科町に戻ろうと考える動機づけの一つになるかもしれない。

災害への備えについて



芝間 教男

立科町における災害への対応に対する現状と課題について伺います。

町長 台風19号の災害は甚大であったが、完全な復旧にはまだ時間が掛かる現場もある。

町長 災害を教訓とし、今後の災害に対して平常時から備えは必要不可欠であると認識。有事の際には行政のみでは被災者への救済や復旧活動等に限りがある。住民相互の活動体制をいかに整えるかも課題として捉えている。

町長 先の台風19号豪雨災害時において、町民がどんな行動を取ったか検証し、町はそれに基づき、災害への対策を備える事が必要と考える。

町民に防災について意識して貰いたい重点項目は何と考えるか。

町長 「自らの命は自らが守る」これが基本。新しい生活様式となっても変わらない事と思う。色々な場面でも自らを守る事は基本。その為には日頃からの備えと行動を自分自身で考えておく事を願っています。



町総合防災訓練 (自主防災組織の研修講話)

コロナ禍後に向けた政策について



森澤 文王

コロナ禍を完全に抜け出す事は、私としては難しいと考えている。新しい生活様式を確立した町づくりを進めていく事が肝要である。

町長 コロナ禍を完全に抜け出す事は、私としては難しいと考えている。新しい生活様式を確立した町づくりを進めていく事が肝要である。

町長 町内事業者の経営実態を把握しつつ、総合的に判断して施策や対策を適期に実施出来る様、進めていく事が重要と考えている。

町長 移住政策は、コロナ禍の今、情報収集と準備が必要と考える。町長の考えは、町民の生活状況、町内事業者の経営実態を把握しつつ、総合的に判断して施策や対策を適期に実施出来る様、進めていく事が重要と考えている。

厳しい状況である中、オンラインの移住相談会等も開催する他、オンラインでの移住セミナー等にも参加している。また、併せて町の移住・定住支援サイトの「旅する移住」で町の魅力や情報の発信に努める等、現時点で出来る事に最大限取り組んでいる。

町長 また状況が回復に向かえば、これまでの施策を新しい生活様式への移行に対応させ実証する準備も同時に行っている。

町長 別荘、クラインガルテンの利用者から県外ナンバーの車に乗っている事により、町内で誹謗中傷を受けたとの苦情、相談は来ていないか。

町長 私の耳には入っていない。しかし、県外ナンバー車の来町の増加にあわせ、町内の主



コロナの終息を待つばかりである

国道142号の景観維持について



今井 健児

町長 国道142号の景観維持をどのように行っているか。

町長 一番は町民の皆さん一人一人が自分たちの地域を整備する、美化

円滑な行政運営について

町長 職員へ期待すること。若い職員には率先して経験を積み、より高度な知識の習得を心がけてもらいたいと思っ

町長 中堅以上の職員には広い視野に立って町全体を、また広域的な課題にも積極的に取り組んで行くことを期待している。

町長 そして私の期待以上に町民の皆様からの期待が大きいと強く感じており、その信頼に応えるための努力、また責任を持つ

町長 また、防災訓練の折、研修講話を開催し、各地域に広めるようお願いも行った。

町長 地域における防災マニユアルの作成状況は、町として啓発は行なっているか。

町長 町長・部落長さんを通じ啓発を行なう等を行っている。

町長 また、防災訓練の折、研修講話を開催し、各地域に広めるようお願いも行った。

町長 報・連・相は出来ていないか。

町長 組織であり当然そういった伝達事項、あるいは命令系統をしっかりと下からの意見、お互いの吸い上げという事は普段から行っている。

町長 朝礼・終礼はあるのか。

町長 連絡会なるものを町で作り活動団体の把握・課題・今後の景観維持に向けての母体を作るべきではないか。



町民の草刈りで景観維持された国道142号

町長 朝礼は行っていないが終礼は行っている。常に係長が職員の業務を把握出来ている状況で、これが終礼と同様の意味があるのではないかと感じている。

町長 アンケートを取り、職員の声を聞いてはどうか。

町長 職員組合から来る要望等を検討し改善を図っていく。

町長 終礼を取り入れて見えないか。

「蓼科牛」をどう守るのか



村田 桂子

町長 佐久広域連合連長会議で佐久食肉センター(以下と畜場)運営について「来年3月までに譲渡先を探し、なければ廃止も」の突然の決定は生産者や事業者に大きな衝撃を与えた。

町長 生産者らに何の説明もなく、と畜場の方向性が決められることについて「生産者は置き去りか」「今後の話もなく、譲渡廃止の方向だけを決められても困る」と声が上がっている。町長は「譲渡・廃止の方向」採決に反対したのか。少なくとも生産者に理解を求めた後に採決すべきではなかったか。

町長 「譲渡・廃止」の話はその場で聞いた。と畜場の経営の厳しさは承

町長 「譲渡・廃止」の話はその場で聞いた。と畜場の経営の厳しさは承

だった店舗を中心に訪問させて頂き、状況を把握する中で店側に感染症対策の徹底と誹謗中傷的な事が無いようにお願いした。町内初の感染者が出てもおかしくない状況である。命も大切であるが、人権というものも尊重して頂きたいという事は、議員の皆様も伝えていって頂きたい。

町長 浅間ブランドはJA佐久あぐまでもJAに中心となってもらうよう働きかけたい。町長が立つべきではないか。

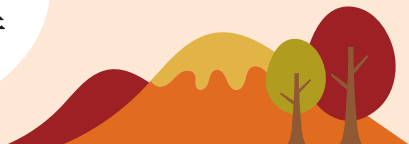
町長 浅間ブランドはJA佐久あぐまでもJAに中心となってもらうよう働きかけたい。町長が立つべきではないか。

町長 浅間ブランドはJA佐久あぐまでもJAに中心となってもらうよう働きかけたい。町長が立つべきではないか。

町長 浅間ブランドはJA佐久あぐまでもJAに中心となってもらうよう働きかけたい。町長が立つべきではないか。

Table with 2 columns: Item and Value. Title: 【蓼科牛の生産高】. Content: 町畜産農家数 11戸/679戸 1.6%, 畜産全体の生産額 6億5千万円, うち肉用牛 2億9千万円/24億1千万円 (農業全体の生産額), 1.6%の畜産農家が、全体の12%の生産額を生み出す重要なブランド

## 議会の動き (主なもの)



令和2年

- 7/27 北佐久郡老人福祉施設組合定例会
- 7/28 第4回臨時会
- 8/3 佐久平クリーンセンター火入れ式
- 8/11 第5回臨時会・定例全員協議会
- 8/20 第3回立科町議会新型コロナウイルス感染症対策会議  
議会運営委員会
- 8/21 民生児童委員協議会・社会文教建設常任委員会合同研修会
- 8/24 森林・林業・林産業活性化促進議員連盟総会・研修会・視察
- 8/27 蓼科高等学校教育振興協議会
- 8/31 佐久広域連合議会運営委員会  
立科町国際交流推進協議会

9/3~17

第3回定例会

9/25 立科町戦没者追悼式



9/28 町村議会議長会政務調査会全体研修会・部会（長野市）

10/5 佐久広域連合第3回定例会

10/7 西峰山の神

白樺湖下水道組合定例会

10/13 定例全員協議会

10/19 佐久市・北佐久郡環境施設組合第2回定例会

10/20 川西保健衛生施設組合第2回定例会

議会だよりの  
表紙に掲載する  
写真・絵画を募集します



立科町の魅力を紹介・発信する  
議会だよりにしたいと思っています。  
ご応募をお待ちしています。

### 表紙写真撮影者



関 英一さん(山部)

相模原から移住してきたご夫妻にいつも農作業を手伝ってもらっています。  
稲刈り・ハゼかけなど一緒にしました。この日も秋晴れの下、脱穀作業に4人で汗を流しました。お手伝いしてもらって本当に助かっています。  
今年もいろいろあつたけど、平年並みの出来。新米が出来たら、炊き込みご飯でも作って収穫祭の予定。秋のお楽しみは盛りだくさんです。

## 議会活動について「ご意見・ご要望」をお聞かせください。

発行／長野県立科町議会 編集／議会だより編集委員会

〒384-2305 長野県北佐久郡立科町芦田2532番地 TEL(0267)88-8413(直通) 有線2311 FAX(0267)56-2310

E-mail gikai@town.tateshina.nagano.jp URL http://www.town.tateshina.nagano.jp

## 編集後記

新型コロナウイルスの騒動により、消毒アルコールのボトルを見付ける度に消毒をし、飲食店でも食事を口に運ぶ直前までマスクをしているという人を見かける世の中になつてしまった。

これから冬を迎えるにあたり、気軽に鍋を囲み語り合い、身も心も温まる時間を過ごせる世の中を取り戻せるのか、と不安と物悲しさを感じる。

このままで行くと、個人で鍋を楽しむ小鍋立てが主流になり、「鍋奉行」という人々が、コロナの終息を待たずに絶滅してしまうのではないかと余計な事を考えてしまうコロナ禍の秋である。

森澤 文王

○今後とも「議会だより」をご愛読ください。

議会だより編集委員会

園村田 桂子 園芝間 教男

森澤 文王 今井 英昭

中村 茂弘 中島 健男

今井 健児